



なんでこんな山の名前が付いたのか興味をそそられるところであるが、調べてみるとサムライが腹キッタだとかろくでもないものであるのがっかりする。まあ靴マークも二つであり楽そうだったのか、ジジイ4人、ババア19人はいつも会う毎日新聞旅行の健脚たちとはちょっと様相が違う。

ツアーリーダーは戸村さんと上野さんの元気印ババアコンビ。それになぜか花岡さんが特別参加。先々週のスリヤピークの時に渡辺さんとの会話中に“花岡さんは腫が治ったらインフルエンザになりました”などと言っていたが、ツアーリーダー復帰前の足慣らしを兼ね



ているようだ。

アカヤシオがみられるということが売りであったが、最初の1時間くらいの林道歩きでは新緑も気持ちよかった。登山道に入ると一気に傾斜を増して、鞍部まではかなりの急登が1時間ほど続く。ここでネを上げたバアサマも何人かいたが、上野さんと花岡さんが一生懸命に面倒を見て、全員が花びらがふっくらと肉付きのいいアカヤシオとナントカツツジが咲き乱れる頂上に着くことができた。

1月の軽井沢バス転落事故の影響を受けて、最近の日帰り登山では入浴なしで帰ることが多い。この日もそうだった。私の場合は風呂はどうでもよいのであるが、風呂上がりの生ビールがなく、バスの中での缶ビールになってしまうのはちょっと味気ない。

2007年にカムチャッカのアバチャ山で一緒した高崎在住であった高木正吏さんが故郷のこの山で亡くなっている。ご冥福を祈ります。

